

愛西市虐待等防止ネットワーク協議会会議録（概要）

会 議 名	令和5年度愛西市虐待等防止ネットワーク協議会
開 催 日 時	令和6年2月14日（水） 午後2時から午後3時45分まで
開 催 場 所	愛西市役所北館2階 会議室2-1・2-2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	鈴木委員、神田委員、藤井委員
協 議 事 項 等	<p>協議事項</p> <p>(1) 令和4年度の相談等実績報告及び令和5年度の相談等実施状況について</p> <p>(2) 事例に基づく虐待等の現状・対応について</p> <p>(3) 講話「児童虐待対応について」</p> <p>(4) その他</p>
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	<p>次第</p> <p>資料1 令和4・5年度 障害者虐待相談件数</p> <p>資料2 女性相談・DV相談件数</p> <p>資料3 令和4・5年度 高齢者虐待相談件数</p> <p>資料4 令和4・5年度 児童相談件数</p> <p>資料5 子育て世代包括支援センターにおける相談実績について</p> <p>資料6 令和5年度社会福祉課事例報告 ※会議終了後回収（非公開）</p> <p>資料7 令和5年度高齢福祉課事例報告 ※会議終了後回収（非公開）</p> <p>資料8 令和5年度子育て支援課事例報告 ※会議終了後回収（非公開）</p>
経 過	別紙のとおり

愛西市虐待等防止ネットワーク協議会委員

役 職	氏 名	職 名	備 考
会 長	鈴 木 睦	愛西市副市長	
委 員	渡 辺 雅 樹	海部福祉相談センター長	
〃	石 田 洋 子	津島保健所健康支援課長	
〃	鈴 木 哲 也	津島警察署生活安全課長	欠席
〃	中 野 尚 幸	名古屋法務局津島支局長	
〃	前 田 規 秀	海部医師会愛西市班代表	
〃	東 清 貴	海部歯科医師会代表	
〃	岡 田 善 行	愛西市顧問弁護士	
〃	杉 方 南 衣	愛西市教育委員会委員	
〃	原 田 健 三	愛西市社会福祉協議会長	
〃	高 橋 寛 直	愛西市民生児童委員協議会長	
〃	川 村 久 美	愛西市主任児童委員（佐屋地区）	
〃	神 田 倫 代	愛西市主任児童委員（立田地区）	欠席
〃	藤 井 諭 美	愛西市主任児童委員（八開地区）	欠席
〃	北 埜 恵 子	愛西市主任児童委員（佐織地区）	
〃	人 見 英 樹	愛西市福祉事務所長	
〃	清 水 栄 利 子	愛西市健康子ども部長	
〃	高 松 潤 也	愛西市保険福祉部参事	
〃	伊 藤 義 幸	愛西市保険福祉部社会福祉課長	
〃	八 木 久 美 子	愛西市保険福祉部高齢福祉課長	
〃	水 野 裕 公	愛西市健康子ども部子育て支援課長	
〃	服 部 芳 樹	愛西市健康子ども部健康推進課長	
〃	猪 飼 政 和	愛西市教育部学校教育課長	

事 務 局

氏 名	職 名	備 考
藤 本 貴 志	愛西市保険福祉部社会福祉課 主任	
城 安 代	愛西市保険福祉部高齢福祉課 主査	
水 谷 幸 代	佐屋苑地域包括支援センター	
佐 藤 安 成	愛西市健康子ども部子育て支援課 課長補佐	
神 田 真 愛	愛西市健康子ども部子育て支援課 主査	
麻 西 志 保	愛西市健康子ども部子育て支援課 主任	
大 野 雅 美	愛西市健康子ども部子育て支援課（家庭相談員）	
松 原 政 江	愛西市健康子ども部子育て支援課（家庭相談員）	欠席
検 校 規 世	愛西市健康子ども部子育て支援課（子ども家庭支援員）	欠席

審 議 経 過

発言者	内 容 (概 要)
会 長	1 あいさつ 会長あいさつ
会 長	2 議 題 (1) 令和4年度の相談等実績報告及び令和5年度の相談等実施状況について 障害者虐待・DV相談について、社会福祉課からお願いします。
事務局	資料1、資料2に基づき、障害者虐待、女性相談・DV相談について報告。
会 長	高齢者虐待相談について、高齢福祉課からお願いします。
事務局	資料3に基づき、高齢者虐待に関する相談について報告。
会 長	児童虐待相談について、子育て支援課からお願いします。
事務局	資料4、5に基づき、家庭児童相談室における児童相談、子育て世代包括支援センターにおける相談について報告。
会 長	(2) 意見交換 各課からの報告に対し、ご意見・ご質問があればお願いします。
委 員	高齢者の虐待について、本人からではなく、本人が介護支援専門員へ訴えることはありますか。虐待通報のしくみを教えていただきたい。
事務局	本人が、自分が虐待をされているかどうかの認識が無い方もいます。そのため、専門職が虐待案件として市役所や包括支援センターに通報することが多く、本人からは少ない状況です。最近の傾向では、本人が警察に助けを求めるともあります。虐待とまでいかないケースであっても、警察から連絡をもらうこともあります。
委 員	高齢者の虐待について、地区を担当していると、本人の顔が見えない場合もあります。その場合は地域包括支援センター等へ連絡を入れて対応をお願いします。地区担当が色々な方法でケースに対応してくれています。
会 長	議題(2) 事例に基づく虐待等の現状・対応について 障害者虐待の事例として社会福祉課からお願いします。

事務局	資料6に基づき説明。
会 長	高齢者虐待の事例として高齢福祉課からお願いします。
事務局	資料7に基づき説明。
会 長	児童虐待の事例として子育て支援課からお願いします。
事務局	資料8に基づき説明。
会 長	ありがとうございました。各課からの事例報告に対してご質問、ご意見等があればお願いします。
委 員	<p>暴れたり噛みついたりといった行動障害のある方もいます。身体の大きな大人の男性だと支援員が手に負えずケガをすることもあります。本日の会議では、障害を背負うことで助けや苦しみを言えない方々の視点で話をしなくてはいけないと思いますが、支援員への直接的な暴力は警察に訴えるわけにもいかず、非常に大変だと感じています。インターネット上には、対応の仕方が書いてありますが、そんなに簡単にできるものかと考えることもあります。障害者への対応では、支援者が身体を張ったギリギリの対応をしており、その対応方法に悩み苦しんでいる現状もあります。</p>
事務局	<p>行動障害のある方の支援をされる方は、暴力になるかならないかの狭間で仕事をしている方が沢山おられると思います。行政としても、養護者による虐待の相談は今までのところありませんが、県下では支援者が障害者に暴力を振るっていると通報を受けて対応するケースもあると聞いています。ただ、私どもは暴力を認定するのが仕事ではなく、暴力や不適切な行動を改善して利用者が暮らしやすい環境を作っていくのが使命だと考えています。担当課としても心得ながら虐待の対応に努めていきたいと思っています。</p>
委 員	<p>子育て支援課の事例を聞き、かなりの衝撃を受けました。事例の振り返りをされ、反省点があるとおっしゃいましたが、このお子さんは支援を受けられて本当に良かったと思います。ただ、小学校やもっと幼少期に通報や何かあったかどうか、振り返りの中で改めて確認をしていただきたいと思います。お子さんの成長への阻害もかなりあったと思いますので、このお子さんに対して、心のケアも含めたこれからの支援を丁寧にしていただきたいと思いました。母親が、「虐待をしてしまうかもしれない」という話を自分からしてきたにも関わらず、虐待を疑われると攻撃的な態度をとるということでした。攻撃的な態度をとったということは、もしかしたら本当に虐待していたかもしれないと思いました。本当は、母親からのSOSであり、母自身が自分のことを助けてほしかったのかもしれないとも思いました。ハイリスク</p>

委員	<p>妊婦さんへの対応もされているという報告がありました。その段階からご家庭の情報を得ながら、お子さんの心身ともに健やかな成長を助けていただけるとありがたいと思います。</p> <p>この家庭に支援が受けられて本当に良かったと思います。この場合は分離されて良かったのではないかと思います、ただ、高齢者虐待で紹介された事例の場合は虐待が繰り返されるように感じます。家族の入院により、加害者と被害者の二人暮らしとなるため、ますます虐待がひどくなるようにも思われます。児童虐待の事例と同じように被害者を施設に入所させることはできないのでしょうか。被害者が家にいたいと希望しても、はっきりと虐待認定がされている場合は施設入所への強制力はあるのでしょうか。</p>
委員	<p>地域から、虐待や虐待の早期発見ができるように見守っていきたいです。常にアンテナを張って、気付いたことがあればすぐに連絡をさせていただくように努めたいと思います。</p>
事務局	<p>この児童虐待のケースについては、支援者側として振り返りの必要性のあるケースだと考えています。一般的にケースが終結すればケース管理は終了するのですが、このケースについては振り返りのケース会議も行いました。振り返りのケース会議終了後には、このケースを教訓にしてそれぞれの関係機関として今後どう体制を整えるか、何に注意すべきかをご検討いただき、それぞれの機関の振り返りを関係機関に還元するという対応をしました。</p> <p>この事例については、教育委員会と連携して市の養護教諭部会へ事例紹介をし、小さな芽もきちんと拾っていかねばならないこと、身体計測の値で疑問が生じたものは、虐待と決めつけるのではなく、成長発達を心配しているという伝え方で受診勧奨するなどの対応をしていただけるとよいことを伝えました。</p> <p>本日、皆さまには関係機関の代表としてお集りいただいています。会議などの際には、些細な事でも気になることがあれば子育て支援課や児童相談センターに相談するといいいことを伝えていただきたいと思います。子育て支援課としても、子育て支援課や児童相談センターに伝えれば、お子さんを救えるということについて、情報発信に努めていかなければいけないと感じています。</p>
会長	<p>高齢者虐待についてご意見、ご質問がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>2点ほど確認させて下さい。今回の事例報告は対応に難しいケースであったと思います。同居家族の交通事故や大量服薬、その後の一人暮らしとあり、複数の課題に対し支援が必要なケースだと思います。何かアウトリーチ的な支援はされているのでしょうか。もう一点は、今後も施設入所を避けた形で支援を進めていくのか、それともどちらか状態の悪い方をグループホームや</p>

委員	<p>特別養護老人ホームの入所につなげようと考えているのか、現時点の状況でよいので教えていただきたいと思います。</p> <p>先程の資料説明の中で、虐待に関する相談件数と虐待認定の件数とでかなりの差がありました。実はこれが大事だと思います。相談があったところには関係機関が虐待ではなくとも継続して支援する必要があると思います。我が家でも事例に比較的近い状況があります。口喧嘩で終わっている状況ですが、一歩間違えばそれだけで済まなくなります。自分も近くに住んでいますが、四六時中みているわけではないため判断が難しいと感じています。継続支援を行っていることがあれば教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご質問のアウトリーチ支援に関しては、他機関と連携できておりません。このケースでは、その家族と積極的に話をする機会を持つことができず、避けられているところもありました。親の見守り支援者としての関係を構築しておきたかったため、積極的な支援まで進めませんでした。2つ目のご質問の施設入所については、本人が自宅を望み、加害者も伴侶と住みたい希望がありました。ご家族としては、経済的理由もあり施設入所の選択ができないという理由もあります。介護保険のサービスをそれぞれが使って、同居家族の独立により夫婦二人になり、虐待のリスクが高い環境であることは支援者間では共通認識しています。日中、必ずどちらかが介護保険サービスを使って、支援者が介入する時間帯を分けるように工夫し、家族関係を保ちつつ、虐待が起きないよう環境を整えながら見守っています。これまでは、支援者同士の連携や情報共有ができていませんでしたが、現在は包括支援センターを中心に連携がとれる体制を整えています。サービス事業所同士も連携を取れるようになり、チームとして支援できるようになってきたと思います。そのチームには、別居している家族をキーパソンとして入れて支援しています。</p> <p>後の質問の、継続的な支援については介護保険のサービスの導入により、ケアマネジャーの定期的な訪問やサービス事業所の目も新しく入っています。できれば民生委員さんにもというところではありますが、地域特性もあるため、まずは介護保険サービスを使いながら見守り支援ができる関係機関を増やし、介護保険サービスを使わない所には地域包括が定期的に連絡を取りながら関わりを持っています。最終的には施設入所になるとは思いますが、家族の希望も尊重し、できるだけ地域での見守りを前提として支援していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は児童虐待対応について、海部児童・障害者相談センター主任（児童福祉司スーパーバイザー）としてご活躍されております猪飼様より講話をお願いしております。よろしくお願いいたします。</p>

講 師	<p>講話：「児童虐待対応について」～子どもの安心安全を適切につなぐ体制づくり～</p> <p>講師：海部児童・障害者相談センター主任（児童福祉司スーパーバイザー） 猪飼 哲也氏</p>
会 長	<p>猪飼様、ありがとうございました。児童虐待対応のお話ではありましたが、どのような虐待対応についても応用ができる内容でありましたので、今後の活動の参考にしていきたいと思います。</p> <p>本日の予定していた議題は以上でございますが、その他として事務局から報告事項等お願いします。</p>
事務局	<p>委員の皆様は任期ですが、令和6年3月31日までとなっております。2年間大変お世話になりました。引き続き委員をお願いする方もあるかと思いますがその節はよろしく願いいたします。</p> <p>愛西市といたしましては、令和6年度から児童福祉法の改正に基づき、「こども家庭センター」の設置に向けて準備を進めているところです。こども家庭センターでは母子保健分野と児童福祉分野がより密に連携することにより、子育て家庭に対し妊娠期から切れ目ない支援を行います。そうすることで虐待予防やリスクのある家庭の早期発見・対応ができるような体制づくりを目指します。今後もこの協議会を通して、関係機関の皆様とさらなる連携を深めていきたいと思います。</p> <p>また、冒頭で案内いたしましたとおり資料6、7、8の事例報告につきましては会議終了後に回収させていただきます。ご協力をお願いいたします。事務局からは以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。今後、色々な事案が発生するとは思いますが、関係機関と連携しながら、迅速かつ適切な対応に努めたいと思います。</p> <p>各分野からのご協力をよろしく願いいたします。これをもちまして愛西市虐待等防止ネットワーク協議会を終了させていただきます。</p>